

築城年／長禄元(1457)年
城主／徳川氏
石高／幕府直轄
存廃城／存城
所在地／東京都千代田区千代田ほか

前身は室町時代に太田道灌が築いた城で、天正18(1590)年に徳川家康が入部し、城下を含め、大規模な造営工事に着手。

慶長・元和・寛永期の天下普請により、日本城郭史上例のない規模の大城郭となる。

江戸幕府の政庁であり、徳川将軍家の居城だったが、明治期以降は皇居となる。



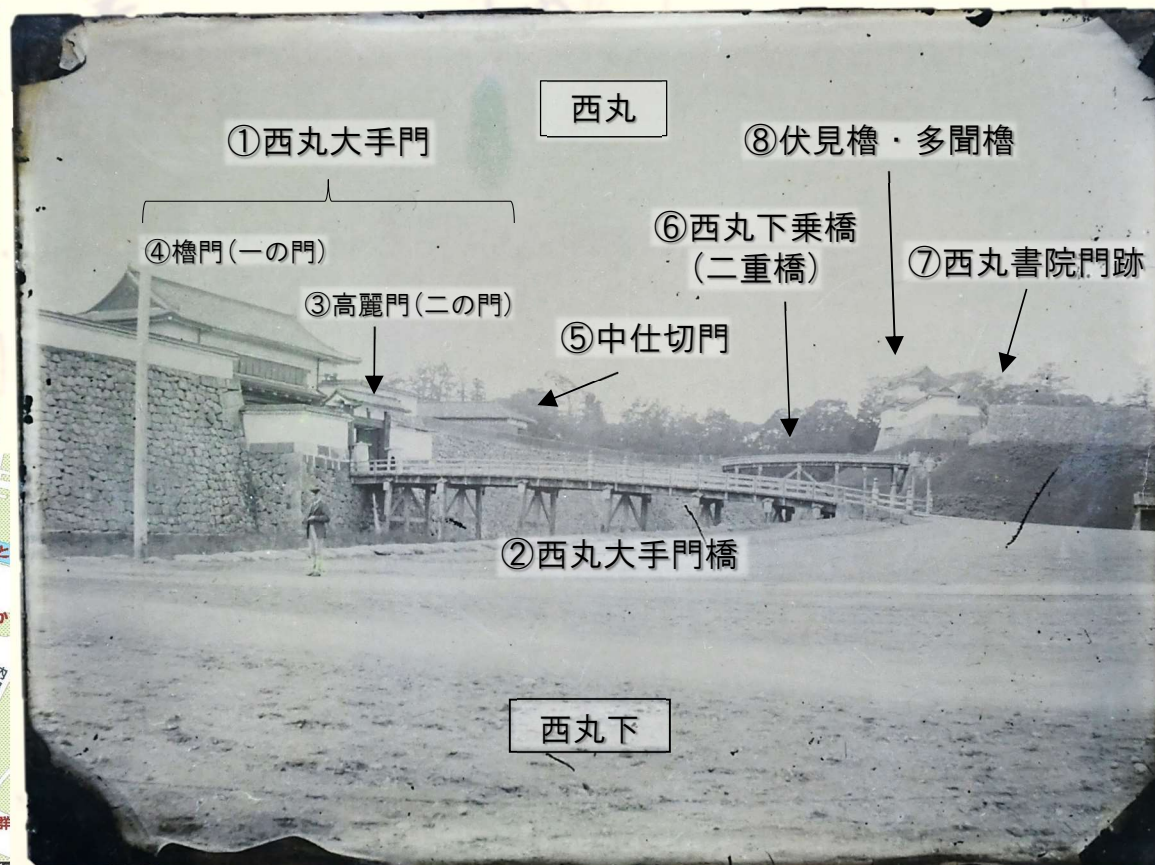
古写真は、撮影された景観だけでなく、写真に写る部分と今も残る部分を比較解析して、現在は失われた建物などの高さや大きさを算出することもできる重要な資料です。

盛岡城が写る古い写真を発見された場合は、下記までご連絡ください！



盛岡城復元調査推進室の取組の詳細は、市ホームページに掲載しています。

盛岡城に由来があると伝わる資料や建物等に関する情報などありましたら、盛岡城復元調査推進室(019-613-7956)まで、情報提供をお願いします。



江戸城西丸下から見た西丸大手門と伏見櫓【個人蔵】



二重橋と伏見櫓

【提供】(一財)国民公園協会 皇居外苑

電 報

Vol.18 2024年11月

盛岡城復元調査推進室で進めている土蔵内調査等の調査報告として、今回は、弘前城天守の古写真について紹介しました。

今回は、調査で見えた他城郭の古写真第二弾として、徳川將軍家の居城である江戸城西丸の古写真をご紹介します！

「古写真」の持つ価値

江戸時代 全国には約200の城が存在しましたが、今日ではそのほとんどが建物を失っています。

明治初年に盛岡城を菜園側から撮影した盛岡城古写真には、天守、二階櫓、本丸御殿などが写されています。城跡内に現在残るのは、彦蔵1棟のみです。

かつて、城内が建物で溢れていた往時の城の勇姿やその輝きは、今となっては、古写真からしか知ることができません。私たちが古写真を見て感動するのは、その中に残る「昔の光」を感じるためかもしれません。